

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（525）

2. 日時：令和5年5月29日 14時10分～14時20分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官、宮本上席安全審査官、秋本主任安全審査官、  
藤原主任安全審査官※、大塚安全審査官、伊藤安全審査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他5名

原子力事業統括部 部長（安全技術担当）※、他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

（1）泊発電所3号炉 残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて

（2）泊発電所3号炉 DB/SA/BF 審査資料の説明状況

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、原子力規制庁の宮本です。とともに3号機残されている審査上の論点とその作業方針及び作業スケジュールについてのヒアリングを開始します。それでは説明の方をお願いします。
0:00:13	はい。北海道電力の金岡です。それでは資料の1をもとに、論点とスケジュールについて説明させていただきます。
0:00:21	変更箇所については30ページをお開きください。
0:00:27	あと30ページですけれども、通しナンバー21番、耐震耐津波に関わる項目でございます。
0:00:35	耐津波の作業方針といたしまして、漂流物のうち燃料等輸送性の評価方針の説明という項目を今回追加してございます。
0:00:47	またその下の作業状況のところですが、
0:00:50	耐震設計方針の説明状況を踏まえて説明状況を更新してございます。
0:00:57	続きまして通しナンバー33ページ、1033ページをご覧ください。
0:01:04	33ページのところは、通しナンバー23番でBSバックフィットに関わる項目です。
0:01:10	作業状況のところでは津波PRAについて作業状況を今回更新してございます。
0:01:17	続きまして37ページをご覧ください。
0:01:23	37ページのところ、通しナンバーの21番になりますけれども、耐震設計方針のところでは、
0:01:30	地盤の液状化に関わる審査状況、こちらをす、1ヶ月程度をスライドし、するというような見直しを行ってございます。
0:01:41	その下の審査実績のない評価方法や評価条件の
0:01:47	説明これにつきましては、またの審査会合時期と合わせるということでスライドしてございます。
0:01:55	あとその下の方になります、対津波の漂流物に関わる項目です。
0:02:02	燃料と輸送線の対比という説明項目について吹き出しですね、設定この時期に説明するというようなことを吹き出しで追記させていただきたいと考えてございます。
0:02:16	続きまして38ページをご覧ください。
0:02:23	38分、ページのところは、地震のPRAのところになります、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	ハザードの結果を待たずに、説明を開始するという事で工程を前倒しするというような見直しを行ってございます。
0:02:37	あと一番下のところになりますが、グループ1から4の説明につきまして、5月25日の審査会合で、今は審査会合時期終わるようになってますが、
0:02:48	審査会合でご指摘いただいておりますので、次回の審査会合時期について、設定してですね、次回見直しをさせていただきたいと考えてございます。
0:03:00	続きまして資料の2をご覧ください。
0:03:05	資料の2は、DBSAバックフィットの説明状況になりますが、
0:03:09	前回、5月25日のヒアリングでの指摘を踏まえまして、
0:03:16	等をですね、
0:03:20	要するに、
0:03:23	4ページをご覧ください。
0:03:26	4ページになりますけれども、
0:03:30	IDの51番以降ですね今回黄色ハッチングとしてございます。
0:03:37	これはSA設備と技術的能力のすべてを対象にですね、5月20、5月25日の審査会合で、
0:03:46	ご指摘を受けましたので、新たな課題として残してございます。
0:03:53	指摘といたしましては、二重マルがついているところにつきましては、共通の1.0432.1ということで、
0:04:03	これは接続口の設置位置についてご指摘を受けたもので、二重丸の課題として残してございます。それ以外につきましては、三角利子の記載の適正化ということで、
0:04:16	課題として残してございます。
0:04:19	見直した事項については以上となりますご説明以上です。
0:04:26	はい、ありがとうございました。私の方から前回の会合での指摘事項を踏まえてまず漂流物のところは今記載はないですけど、公文公文というわかるように
0:04:39	年4%のところの記載を追記するという認識でいいですかね。
0:04:44	はい。その認識で結構でございます。はい。それと38ページの最後ちょっと説明されたんですけど、
0:04:51	これは、
0:04:55	ハザード側母児香りがクマクラのナカなんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:01	前提上で設計を説明早期に行う工程短縮を務めるって書いてあるやつを、これが短くなったんですが、今後、
0:05:08	今後の医師を抱えられてるのはどちらでしたっけすみません。
0:05:15	吹き出しですね共通アクセスのところに入っているところです。
0:05:20	はい。北海道電力の金岡です。
0:05:23	ここについては、変更はなくてですね、このように、現在対応しているというような状況を記載しているところでございます。
0:05:34	わかりました。実際、今回工程を短くしたというのは、この地震PRAが、
0:05:42	短くなった、短くて前倒しになったってそういう認識でいいですかね。
0:05:46	北海道電力の金岡です。今回の変更箇所は地震PRAがそうですね前倒しでご説明していくということで工程を短縮しているところでございます。以上です。
0:05:57	はい、わかりましたこの部分っていうのは、特にサボっCriticalでも、浅部Criticalのミドルが、要は少し短くなったってそういう認識でいいですか。はい。そのご認識で結構でございます。
0:06:10	はい、わかりました私の方は以上ですけども大戸他何かご質問等ありますでしょうか。
0:06:18	藤田さんは何かあるでしょうか。栗原さんすみません藤原さん何かあるでしょうか。
0:06:22	はい規制庁フジワラです。特にございません。
0:06:27	はい。じゃ、
0:06:31	すみません規制庁の天田ですけど、資料2で先ほど5月25の会合の
0:06:37	対応状況ですかね、新たな課題の、
0:06:41	説明があったときに、接続孔については43条1、
0:06:46	0ですか、大規模損壊という説明があったんですけど51メートル倉庫シャッコウの防水シート、
0:06:54	についてはどう、どういう整理ですか。
0:06:57	はい、北海道電力の金岡です。
0:06:59	この資料で言いますと、4ページですね、投資なん、IDで言いますと53番になります。IDの53番が、これがアクセスルート項目を示しているところになってございまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:14	アクセスルートにつきましては、
0:07:17	論点とスケジュールですね、そちらの方の資料で、工程を管理してございますのでそちらの方で説明していく時期を記載してございます。以上です。
0:07:33	規制庁の天田ですわかりました。私から以上です。
0:07:40	はい、他ないでしょうか。なければなければこれでヒアリングの方を終了したいと思いますありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。